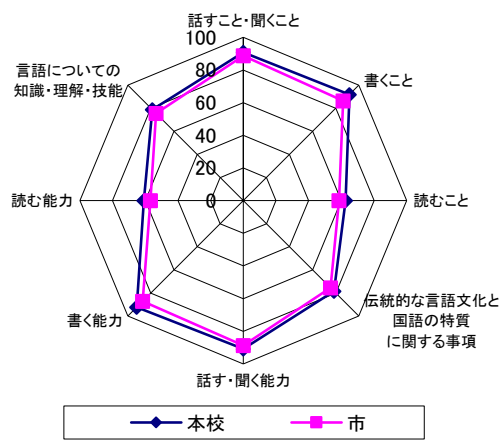


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	90.8	88.7	89.1
	書くこと	91.9	86.4	64.2
	読むこと	62.7	58.5	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	78.5	75.5	72.0
観点別				
	話す・聞く能力	90.8	88.7	89.1
	書く能力	92.2	87.1	66.7
	読む能力	60.8	56.9	55.0
	言語についての知識・理解・技能	78.8	75.6	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は90.8%と市の平均88.7%を2.1ポイント上回っている。前年度と比べてもかなり高い数値を示している。 ○「話し合いの内容の聞き取り」においては、正確に聞き取るだけでなく、聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取ることができている。また、根拠を明確にして自分の意見を話すこともできる。 ●司会者等の役割に関しては、その工夫などを聞き取る点で全国平均をやや下回っている。	話すこと・聞くことの学習教材だけでなく、グループ学習などの機会を通して、司会者としての役割や、お互いの考えを伝える工夫や話し方・説明の仕方の工夫についても、継続的に指導する。
書くこと	平均正答率は91.9%と市の平均86.4%を5.5ポイント上回っている。「書く」ことに対する苦手意識はあまりないようである。 ○特に「作文」は条件を踏まえて、順序立てて自分の考えを書くことができ、市及び全国の平均を大幅に上回っている。	早い段階で、作文の書き方をしっかりと身に付けさせる。また、説明的文章や小説の読解などの授業でも、自分の立場を明確にした意見文を書いたり、理由や根拠を挙げて書くことを意識させた課題などを提示していきたい。 決められた時間内に書く、条件を満たして書くなどの練習を通して、入試対策への対応もしていきたい。
読むこと	平均正答率は62.7%と市の平均は上回っているものの他の領域、観点と比べてかなり低い数値であり、教科全体のバランスを大きく崩している。 ●「説明文の内容の読み取り」では、内容をとらえたうえで、別の事例にあてはめることの数値が、市の平均よりも2.6ポイント下回っている。更に、文章の構成や展開の捉え方、文学的文章の心情や情景描写の捉え方、古典の読解は全体的に低い。	説明文の内容の読み取りでは、文章に即した要旨を捉えることを中心に、段落相互の関係や接続詞などに注意して構成を捉える機会を増やしたい。 文学作品では、登場人物の心情や情景描写に注目して読み取りを行わせたい。 古典作品の読解は、古文に慣れることが重要なので、便覧などを活用して多くの作品に触れさせたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は、78.5%と市の正答率75.5%を上回っている。 ○漢字の読み・書きについては、概ねしっかりと書くことができる。 ●意味の分からない漢字については、当て字を書くことが多い。また、文法(用言の活用・助動詞)については、しっかりとした理解ができていないようである。	語彙力・漢字の読み書きの力は、教育活動全般に関わるものなので、今後も漢字の意味を理解させながら、繰り返し学習する機会を確実にとりたい。 文法に関しては、既習事項を忘れてしまうことが多いので、折りに触れて復習する機会を設けたい。更に、文法ノートを作ることで、絶えず文法学習の見直しができるようにし、継続的に学習が行われるようにしていきたい。